

オオノ開発(株) 家庭の負担を少しでも軽く 放課後児童クラブへ文具セットなど配布

3月27日、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、休校が続く家庭の負担を少しでも減らそうと、オオノ開発(株)が、児童クラブに通う小学生たちに、文具セットやカップ麺を配りました。

文具セットを受け取った子どもたちは「ありがとうございます」とお礼を伝え、児童クラブでお絵かきや勉強をして過ごしました。



多年に渡り地域に貢献 民生委員・児童委員厚生労働大臣特別表彰

高塚正一さん(志津川)が民生委員・児童委員厚生労働大臣特別表彰を受賞され、市長から表彰状を伝達されました。高塚さんは15年もの間、民生委員活動に精励し、その功績が顕著であると認められたものです。北吉井小学校に通学する皆さんは、愛媛大学医学部正門前で毎朝見守り活動をしてくれる高塚さんを見かけたことがあるのではないのでしょうか。高塚さん、いつもありがとうございます。

長年の功績に感謝 前消防団長 菅能英樹さんに感謝状

愛媛県消防協会役員として地域の消防活動の発展に尽力された功績が称えられ、前消防団長の菅能英樹さん(上林)に、県消防協会大西中予支部長から感謝状が手渡されました。

菅能さんは2年間、東温市消防団長として活躍しただけでなく、中予圏域での消防団の連携活動にも尽力されました。菅能さん、ありがとうございます。



▶(株)富久の皆さん

地域防災体制をより一層強化 東温市消防団協力事業所に2事業所が認定

(株)富久とひかり認定こども園が、消防団協力事業所に認定されました。

この認定制度(消防団協力事業所表示制度)は、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められ、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的としています。(株)富久は、従業員の複数名が地域の消防団に入団して積極的に活動に協力いただいています。

新しい地域おこし協力隊が就任 若い視点で演劇と地域を結びつける

新しく着任したのは、滋賀県出身の田中直樹さん(22)。大学までを滋賀県で過ごした田中さんは、高校生の時に友人と劇団を設立。大学でも社会人劇団に所属し、地域と演劇をどのようにして結び付けていくかを考え続けてきました。

「松山市にある小劇場を訪れた時に、東温市が推進しているアートヴィレッジ構想を知りました。地域に文化芸術を根付かせ、雇用を生み出そうとするコンセプトが、これまで取り組んできたことに非常に近く、力になりたいと思い、移住を決めました」と田中さんは話します。

現在は東温アートヴィレッジセンターが休館中のため活動に制限がありますが、インターネット等で東温市の情報を収集する毎日だそうです。

田中さんは「今できることに取り組んでいます。演じる側の経験もありますが、今後は主に音響・照明スタッフとして活動していくので、裏方の仕事を覚えています。とてもやりがいを感じています」と意気込みます。



他にも、田中さんは東温アートヴィレッジセンターの広報活動や地域連携活動にも従事していくそうです。田中さん、よろしくお祈りします。

卒業してもいつも見守っているよ 東谷小学校の卒業式 地域住民が門出祝う

3月24日、東谷小学校で卒業式が行われ、4人の児童に卒業証書が手渡されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、規模が縮小されて行われた卒業式でしたが、体育館から出た4人を待っていたのは、青空の下、門出を祝福しようと集まった東谷校区の地域住民の皆さん。6年間を過ごした広い運動場には、温かい笑顔が溢れました。

ご卒業おめでとうございます。



女子小学生の野球場 こけら落とし 山之内地区でグラウンドこけら落とし

3月29日、山之内地区のグラウンド「チェリーブロッサムパーク愛媛」で、完成を祝うこけら落とし式典が行われました。グラウンドを拠点に活動するのは、女子小学生だけの野球チーム「マドンナジュニア愛媛」です。旧山之内小学校跡地にできたグラウンドは、保護者や地元の皆さんが協力して、少しずつ整備を進めてきたそうです。当日行われた地元チームとの親善試合では、山あいの地域に白球を打つ音が響きました。